



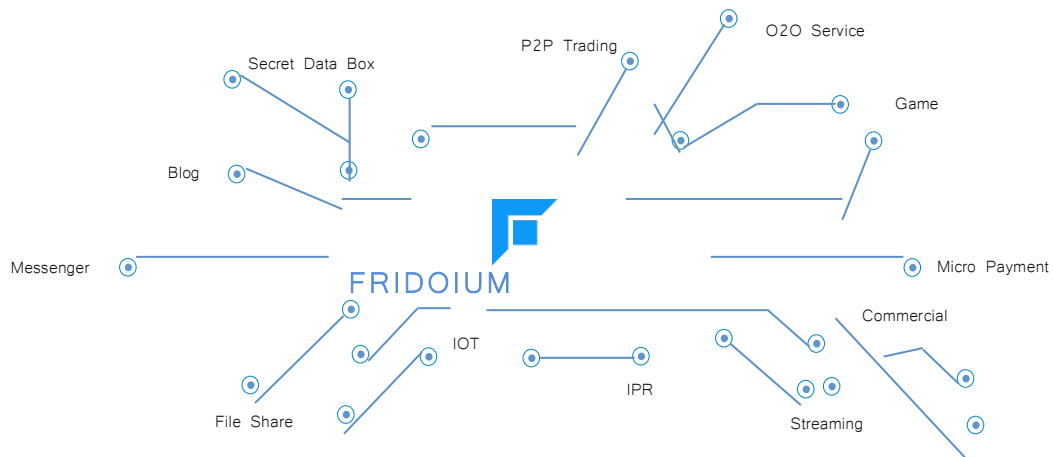
Yasunaga (Japan) JamesPark(Korea) HuangXiaoKun(China)

White Paper Ver 0.1

1. 紹介

Fridium Teamは、インターネットの活動の真の自由の実現という目標に情熱を持って、20年以上の経験のあるITビジネスマン、セキュリティの専門家と才能のある開発者にブロックチェーン上の分散型P2Pネットワークを介して生産されているブロックチェーンの暗号経済の無限の拡張性をあまりにもよく理解しています。そしてブロックチェーンがもたらす利点を最大限に活用して弱点を補完するために多くのアイデアを持っています。

Fridium Teamのプロジェクトは、大きく二つの出発点を持っています。



1. Fridiumだけの固有なEcosystemの構築です。

独自の技術とノウハウをもとに開発したFridium block-Chain Ecosystemは、セキュリティサービス、金融サービス、物事インターネットの結合、ゲームサービスなど、様々なブロックチェーンプロジェクト（dApps）が開発し、運用することができるように拡張性はもちろん新しく、革新的な環境を提供することになるでしょう。開発者が簡単にアクセスして、理解できるようにフレンドリーなプログラミング言語go, js, python, ts, rustをベースに開発されるものであり、一般的なユーザーのためにはインターフェースの操作だけで、自分だけのブロックチェーンサービスを実現することができるよう支援することです。

Fridium Ecosystemは、プロジェクトを作成し、参加して、利用するすべてのメンバーに公正で透明なRewardシステムを提供するものであり、これにより、世界中の数千または数万個のノードのシステムが運営されるものであり、これはFridium Ecosystem上の開発、運営されるすべてのサービスに最強レベルのセキュリティ、信頼性を提供することになるでしょう。

2. ブロックチェーンベースのメッセージベースのプラットフォームサービスを完了することです。

Fridium Teamは、世界中の35億人（2020年50億人と推定）のメッセージサービスの利用者の中で私のデータ（個人情報、会話の記録、データファイル、移動経路など）が安全に守られて第3者によって使用されていないセキュリティ的な側面と、真の匿名性をもとに、自由なインターネット活動を保証受けようとするユーザ中心のメッセージ機能を実行することです。

- どのようなDeviceでも行うことができる快適なアクセスを提供する。
- 会話履歴はすべて、各個人のDigital Signingにより保護されて、開発チームでさえも、その内容を確認することができない最上位レベルのセキュリティを提供
- 別の個人情報の登録なしに、簡単なクリックで利用できる匿名性を提供。
- 統合支払いシステムを提供（取引費用や手続きの簡素化）

Fridiumのブロックチェーンネットワークは、セキュリティ化されたメッセージ活動の新たな指標となり、一緒に提供される様々なサービスの画期的な転換点になるでしょう。

1-1。問題の認識

世界中のインターネットユーザーの数は継続的に増加している。2020年には、ユーザーが50億人に達すると推定する。ただし、ユーザー数が増加するにつれて、その被害もますます深刻になっている。FBIが運営する犯罪申告センター（IC3）によると、2016年に米国内のサイバー犯罪関連298,728件の通報を受け、総被害額は1兆3000億ウォン規模に達する。この数値さえも15%申し訳ありませんのサイバー犯罪申告率に基づいて集計された金額とするとし、実際の被害規模は想像を超越する。

また、我々はすべての実生活であらオマハン量のデータが生成されるデジタル情報化社会を生き、自分も知らない間に、様々な形態の個人情報（データ）をサービスプロバイダに提供している。ほとんどのユーザーが読み取りを放棄するサービス利用規約をあいまいに作成する方法で意図を隠したまま、ロケーションベースのサービスプロバイダによって私達の場所は、企業に共有され、メールサービスプロバイダは、加入情報とメールスキャンをにより、ユーザーの個人情報を取得して、それに適しコンテンツと広告配信を試みます。

これを自然な企業の活動といってもいいが、個人は私たちも知らない間に、このような情報を提供することで、企業の収益に利用されているのではないか、あるいはどの程度の情報まで、彼らに継続的にさらされているかどうか心配しないことができない。

1-2。新しい試み

あなたが誰であるか？どこなのか？何に興味を持っているかどうか？Fridiumは知ろうとしません。あなたはFridiumメッセンジャーを利用して友人とパートナーとの秘密会話を交わすことができます。ビジネスパートナーとの未来のビジネス戦略の重要な機密を議論してもFridiumチームはもちろん、誰も会話の内容が何なのか知ることができません。あなたの車を修理するか、（修理ロボット）、簡単な身体検査（遠隔医療）を中に利用した自動機器の小額決済のために現金やプラスチックカードを所持する必要がありません。Fridiumメッセンジャーをオンにして、簡単なQRコードの認識を介して簡単に手頃な価格の手数料を利用して決済処理が可能です。

安全、自由なメッセンジャー活動の保証！すでに全世界的に活性化されているモノのインターネット（IoT）時代を迎え、様々なサービスを提供する250億個の機器の多くの小額決済を最も効率的に処理することができる決済システム（FDC Payment Service）は、あなたの人生をより快適で、自由になります。これFridiumチームの出発点に過ぎません。あなたのすべてのインターネット活動が自由を求めるその日までFridiumの努力は継続されます。

2. ブロックチェーンのメッセージーANON

WhatsApp、微信、ライン、アイメッセージのような多数のメッセージーアプリはEnd-to-Endの暗号化方式（ネットワークソースポイントで暗号化を使用して、ターゲットポイントで復号化を実行するプロセス）を使用しており、セキュリティサービスで武装した集中されたシステムを使用している。最終的には、これらのすべてのセキュリティサービスを武装解除させる瞬間のすべての情報は、ハッカーや内部管理者の所有となってしまう。

Fridiumメッセージー（Anon）で生成されたユーザーのデータはFridium Block-Chain Ecosystemをなす複数のノードのシステムに最新の暗号化方式の非常に強力なアルゴリズムによって一次的に暗号化され、ブロックチェーンに直接保存され、ユーザーのメッセージは、ランダムに発生する秘密鍵（Personal Key）によって二重に保護される。

私たちのメッセージー活動内容を見たい第三者、Fridium Block-Chain Ecosystemの基本は、暗号化アルゴリズムを一次的に解読し、最初のブロックから現在発生しているメッセージブロックのすべての秘密鍵（Personal Key）を同時にデコードしなければなら完全に解読が可能である。Fridium Fridium Block-Chain Ecosystem完全に解読するためには、何百年もまたはそれ以上のスーパーコンピュータを使用する必要がある

2-1. ANONの主な特徴

■ ブロックチェーンのメッセージー

- すべての情報（記録）が完全に暗号化されたブロックチェーンに暗号化されて、直接保存します。
- すべてのメッセージは、送信者の装置から完全に暗号化された次の受信者側解読されます。第三者（開発チームを含む）は、メッセージにアクセスすることができない
- 開発チームと第三者によって制御されていない。
- メッセージは、デバイスに保存されず、ブロックチェーンから直接ロードされる。
- 開発チームと誰も使用しているアカウントを閉鎖、遮断または制限することができない。
- ブロックチェーンとメッセージープログラムコードは公開されている。（コードの独立した監査可能な）
- テキスト、ファイル（大容量を含む）、音声メッセージ、音声およびビデオ通話

■ 匿名性と実名制を選択可能.

- 仕様の識別のための情報を使用しなくてもされる。（完全に匿名性をサポート）
- ユーザーのアドレス帳、位置情報、IPアドレスをアクセスしない
- 公正かつ正確な情報提供のための実名制のサポート。
- アカウント管理（継続性を維持）のための最小限の情報の入力要求

■ All Deviceサポート

- 別のインストール作業は不要。
- すべてのOSと通信機器の最新のウェブブラウザを介して自由に移動可能
- Webブラウザの実行に上手ではないユーザーのための別のappを提供する。（IOS、Android、など）

■ 団体（企業）のための独立したメッセージー運営システムをサポート

- システムのマニュアルとAPIを提供
- インタフェースの操作を通じたEasy-Setup機能をサポート
- AI Chat-Bot運営を通じた効率的な頭の管理機能をサポート。
- 独立したスキンのデザインと機能の適用が可能。

2-2. システムの構造

AnonはPreCoS（Pre-Consent of Stake）合意アルゴリズムの分散型システムである。

PreCoS（Pre-Consent of Stake）を介して毎秒新たに発生したすべてのイベントを優先合意方式に基づいて、迅速かつ正確に処理される。また、大半のブロックチェーンのメッセージーの場合は、テキスト中心の転送の

みをサポートする欠点を克服するために、マルチブロックのデータベースシステムを構築し、大容量のファイルや動画を転送をサポートします。

Anonのすべてのブロックチェーンの操作は、クライアントがHTTPSプロトコル（エンドツーエンドの暗号化）を使用して相互に接続し、特定のAPIを使用して、すべてのデータをJSON形式で送信するすべてのノードによって実行されます。

■ 3つのタイプのノードで構成されます。

- Consent Node：まず合意によるイベント処理命令とデータを保存する
- Premier Master Node：イベント処理とデータの保存
- API Node：単純イベント処理を軽量APIノード

■ ノード全体は次の基準を使用しており、すべてのノードは、相互接続のためのP2P Schemaを通じたHTTPS Protocolを使用します。

- OS、Linuxサーバー（UbuntuのまたはセントOS）
- Node.JSアプリケーションサーバー
- ブロックチェーンを保存するティタデータベースサーバ

■ クライアントは、次の技術を使用しています。

- ウェブアプリ（Web App）：最新のブラウザ用のWebアプリケーション
- HTML5、CSS、Angular.JS- Web用プログラム言語とフレームワーク
- APIプロトコルを使用したノード全体を活用

Web アプリ[Web App]：Web アプリとは、PC や Smart-Phone など端末の機種に関係なく、任意の端末からでも同じコンテンツを見ることができ

ようにしてくれるシステムをいう。

2-2。ANON開発計画。

■ Messengerの機能

- 暗号化されたテキスト、Emoticon、画像転送をサポート。
- 会話履歴と検索機能
- 新しいメッセージの通知
- 内部のアドレス帳（友達検索/追加/削除/ブロック/招待/連絡先ニックネームの設定）とプロフィールの設定
- グループチャット
- 連絡先とグループ]ダイアログお気に入り
- 音声およびビデオ通話をサポート。
- 秘密のメッセージを送信する（例えば、送信者によって生成されたコードを入れたり、認証手順の後見ることができるメッセージ）
- 大容量ファイル転送機能（動画ファイル、大容量のデータファイルの転送機能）
- 特定の会話履歴のロック機能
（ブロックチェーンに暗号化されて保存された会話の記録が消去され、地震が、メッセージを送信し、一定時間が経過すると、相手が見ることができないか、連絡先とのすべての会話の内容を出荷/受信の両方永遠見ることができないように命令）
- 音声入力と音声メッセージのテキスト出力選択機能
（相手が音声で送信されるメッセージを音声で聞いたり、テキストで確認することができる機能）

■ FDC (Fridium coin) 財布機能

- FDCの保存と契約。
- 取引の記録と詳細ナビゲーション。
- 送信イベント前取引対象を再確認機能。
- OTP認証を通じた安全なトランザクション機能。

■ メッセージアプリケーション

- Safe Data Box (秘密データ保管ボックス) : 一つのデータを複数のパートに分けて、複数のNodeに分散保存させるアルゴリズムを利用し、個人または各種機密資料を安全に保管するための手段
- ユーザのPasscodeとOTPキー入力でデータ復旧。

- Blog & Free Commercial (電子商取引サポートブログ) : 情報性のブログに限らず取引システムをサポートしているブログに投稿に「取引オープン」マークを使用して商品を登録して取引することができるシステムであり、出版社の創作物の場合IPR保護システムを基本的に提供される。

- File- Share & Decentralized Streaming (p2pのファイル共有および分散ストリーミング) : コンピュータプログラム、マルチメディア (オーディオ、ビデオ)、および様々なドキュメントのデータを共有することができるように支援し、Meta- Hashアルゴリズムを実装複数のネットワークがしたオブジェクトにリアルタイムビューア機能をサポート

- このほかに、企業 (ビジネス) ユーザのための人工知能CAHT- BOTサービス、メインサーバが必要としないブロックチェーンゲームサービス、マルチセキュリティコードを使用して、スマートデバイスを登録して管理することができるスマートホーム連動サービスなどを準備している。

3. 支払いシステム (FDC Payment System)

3- 1. 分散院長の技術の利点とパスワード貨幣の平均転送速度

ビットコインとブロックチェーンの分散院長技術 (distributed ledger technology) は、従来のお支払い方法で発生した様々な問題 (二重の支払い、不正使用など) を解決し、IT金融サービスのパラダイムの変化を促進している。

ブロックチェーン分散院長の技術の利点は、以下の通りである。

- 分散コンピューティングの構造 : 分散されたコンピュータのパワーを利用し、効率的なシステム運用 (集中の30%維持費の削減)
- 上/変調不可 : データが鎖構造に前と後のデータを接続する構造で、上記/変調不可
- 透明追跡管理 : すべてのイベントを開始時点からのパスの追跡が可能。
- 小額決済容易 : 250億以上の機器が接続されているモノのインターネット (IOT) 時代の必須支払いシステム
- 様々な拡張性を提供 : 一度構築したシステムをもとに、さまざまなサービスで連携/拡張させることができます

FDC Payment Systemは、まず合意証明方法で毎秒新しい取引イベントを処理するように設計された。2019年までに1秒間に2万件の取引データを処理を目的とする。

Fridium Ecosystemで運営されているすべてのdAppsのサービス利用との取引はFDCを使用する。

ノード管理者はFridium Rewardルールで新規コインを発行し、これをもとに安定した生態系の環境を造成して、利用者は、信頼性の高いサービスを提供され、メッセージやブログ活動を介してトラフィックを発生させ、これを介してコインを獲得することができる。

3- 2. FDC (Fridium Coin) の紹介

- Coin Name : Fridium Coin (FDC)
- Total Supply : 150,000,000
- Algorithm : Keccak512 + PreCoS(Pre- Consent of Stake)
- 平均転送速度 : 1秒
- Program Source : Open Source(GNU GPLv3)

コイン内訳

- ICO (40%) 60,000,000

■ Reward (40%)	60,000,000
■ Team (10%)	15,000,000 (2 Years Hold)
■ Advisor (5%)	7,500,000 (1 Year Hold)
■ Marketing (5%)	7,500,000

Fridium Coin 150 Million FDCが発行されると、それ以上発行されない。

FDC取引は、小数点8桁の0.00000001以上から可能であり、取引手数料は取引量に応じて差分を適用する。

(取引手数料などの取引システムの詳細については、次のバージョンのホワイトペーパーに記載する。)

ICOは合計60万FDCを販売し、販売されていなかったFDCはReward対象数量に適用される。

Reward Systemによって新規コインが発行され、初期設定されたReward対象数量を使い果たした場合、FDC取引手数料とコンテンツ提供者から取得したFDCがReward対象数量に加えて適用される。

(Reward Systemの具体的な事項は、次のバージョンのホワイトペーパーに記載する。)

Fridiumチームの保有量は2年間の取引停止され、2年後のチームの褒賞金とdApp開発チームの発掘と支援に使用される。また、チームの保有コインに対し、コイン保有財布アドレスを公示することで透明性を確保する。

Advisorの保有量は1年の間に取引停止され、1年後に取引が可能である。Advisorは、Fridiumの法的根拠の提示、広報、ブランド構築に役立つ貢献者で構成する。

Marketingに割り当てられたコインは、ICOの期間中のBounty活動とFridium開発およびマーケティング期間中 Talent Donation活動の報酬として支給され、財布アドレス公知を通じて透明性を確保する。

3-3. プロジェクト進行のための募金活動 (ICO前とICOキャンペーン)

ICOはETHとBTC取引を通じて参加することができる。(Private Saleに限ってWire Transfer参加可能)

投資への参加は<https://ico.fridium.org>で可能。

ICOはPrivate Sale、Pre-Sale、ICO1st Round、ICO final

Round4回に渡って行われ、プライベートの販売を除く募金活動日程はホームページを通じて公開する。

ニュースレター配信サービスを申請すれば、登録した電子メールを介して詳細募金キャンペーンに関する通知を最初に更新されることができる。

■ Early Backer(Private Sale)

- 期間 : 2018年10月25日～販売終了まで
- 数量 : 7,000,000 FDC
- 割引率 : 70%
- 投資額 : 約 2,000,000 USD
- Soft Cap 到達基準で信頼性の高い開発のための必要最小限の資源。
- Private Sale お問い合わせは、<https://fridium.org>で可能であり、完了時のホームページに告知する。

■ Pre-Sale

- 期間 : ホームページ <https://fridium.org> お知らせ
- 数量 : 21,000,000 FDC
- 割引率 : 50%
- 投資額 : 約 12,000,000 USD
- 最小の投資: 0.35 BTC / 10 ETH

■ ICO First Round

- 期間 : ホームページ <https://fridium.org> お知らせ
- 数量 : 20,000,000 FDC
- 割引率 : 30%
- 投資額 : 約 15,000,000 USD
- 最小の投資 : 0.07 BTC / 2 ETH

■ ICO Final Round

- 期間 : ホームページ <https://fridium.org> お知らせ
- 数量 : 12,000,000 FDC
- 投資額 : 20%
- 投資額 : 約 10,000,000 USD
- 最小の投資 : 0.035 BTC / 1 ETH

募金活動紹介Bounty制度

- ホームページに登録したすべてのメンバーに固有の識別URLを提供
- ソーシャルネットワークなどURL広報を通じて登録した会員の投資参加の5%Bounty Bonus獲得できます。
- ホームページログイン後Dash- Boardでリアルタイムに確認可能。

Donation Bounty 制度

- ウェブサイトやホワイトペーパーなどのドキュメントの翻訳活動
- ソーシャルネットワークの活動
- Bugレポートとアイデアを提案。
- ブログの記事の翻訳や広報活動

3-4. プロジェクトの予算執行計画

ICOを介して集められたすべての資金はFridium Ecosystemの開発、メンテナンス、運用、マーケティングなどFridiumプロジェクトの成功のために使用されます。

Soft Cap : 2,000,000 USD (약 300 BTC)

Hard Cap : 35,000,000 USD (약 4500 BTC) です。

Soft CapはFridiumEcosystemと第dAppあるAnon (Messenger) を開発するのに必要な必須のインフラ構築に使用されます。Soft Cap目標を超えて資金が確保されれば、生態系全体のインフラ改善とdApp開発速度を高めるために使用されます。

資金執行計画

- 開発 (40%) : オフィススペースレンタル、各種公共料金、保険料、従業員の給与、技術装置、ソフトウェアライセンスおよびFridium関連技術の開発と実行に含まれるすべての費用。
- インフラ (30%) : サーバーとセキュリティ機器、Bandwidth確保、セキュリティコンサルティングなどの生態系を維持するための費用。
- マーケティングとパートナーシップ (30%) : 広告、オン/オフラインプロモーションとのパートナーシップを発展させ、生態系の参加者を増やす使用コスト

4. 開発計画 (ロードマップ)

Q4 2018

- Fridium日本本社設立
 - 市場調査、プロジェクトの計画、ブロックチェーンDB設計とプログラミング
 - ホームページや技術白書 (1チャボン) 発行
 - FDC (Fridium Coin) Private Sale進行
 - Fridium生態系TestNet構築を開始

Q1 2019

- Fridium EcoSystem TestNet構築完了
- FDC支払いシステムBeta公開、財布サービス、決済システムエクスプローラの実装
- ANON Messenger Beta Test

Q2 2019

- ANON MessengerとFDC支払いシステム統合
- FDC (Fridium Coin) Public Sale進行
- ANON Messenger機能のアップグレード

Q3 2019

- ANON Messengerフルバージョンリリース
- 付加サービスの構築を計画設立

5. 通知

Fridium ICO参加は、投資機会を意味するではなく、Fridium生態系が提供されているdAppサービスでは、製品やサービスの取引のためのコインを購入することです。したがって、本ホワイトペーパーもしくはFridiumウェブサイト（「ウェブサイト」） - <http://Fridium.io>のどのような情報も、投資アドバイスすることができません。ICO参加者には、このホワイトペーパーまたはウェブサイトに記載されていくつかの行為を実行する前に直接的/財政アドバイス求めることをお勧めします。

ICO参加者はFDC購入に伴うリスクを認知し、購入、受領、販売、保有することに同意し明示ジョクイドン暗黙だったいくつかの種類の保証なしに「現在」の基準として提供されます。

合法的にICO参加者が管轄でFDCを購入し、その地域で他の買い手にFDCを再販することができるかどうかを決定することは、その参加者に全面的な責任です。

また、法的な成人であり、居住する地域の適用される法律の遵守を保証する必要があります。アメリカ、中国、大韓民国の市民および居住者もしくは代理人であるか、市民および居住者のICO参加を禁止する国はFridium ICOに参加することができません。

またFDCバイヤー、受領者は、売り手と所有者は、その管轄区域でFridium ICOの参加、FDCの受け取り、販売あるいは保有税の影響を決定したり、評価すること全面的な責任があります。

このホワイトペーパーは、ウェブサイトに掲載された条件に該当するFDCの購入および販売を規制しません。

Fridiumは、本ホワイトペーパーやウェブサイトのすべての情報の正確性、信頼性、または完全性についてどのような形の言及や保証もありません。

Fridiumとその創始者、構成メンバーは、従業員、顧問あるいはパートナーは、本ホワイトペーパー、Webサイトのすべての情報の使用もしくは誤用と関連する、またはその由来すべて間接的、偶発的、結果あるいはその他の損害もしくは損失について責任を負わず、ここには、収益および利益の損失やデータの損失が含まれます。このホワイトペーパーまたはウェブサイトの一部の予測と述べによる将来の計画は、不確実性とリスクが伴うされ、結果が計画されたように異なります。このホワイトペーパーまたはウェブサイトのすべての情報は、規制機関の検証や承認を受けません。すべての管轄の法律および規制の条件に応じて、これらの措置は、とられたことも取られる予定もありません。一部の国では、パスワードの通貨の規制がまだはっきりしていないか、または定義されていません。これらの国の立法機関や規制機関は、パスワードの通貨を制御しようとし、既存の規制をここに適用したり、調整することもあり、その場合FDCに不合理に作用することができます。

Fridium

■ ウェブサイト

<https://fridium.org>

■ ICO サイト

<https://ico.fridium.org>